

刈谷市障害者計画の進捗状況

刈谷市障害者計画の進捗状況

事業番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
1	乳幼児健康診査	○4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施し、障害の早期発見、早期療育につなげるとともに、育児不安のある保護者の支援を行います。 ○未受診者の把握と受診率の向上に努めます。	・4か月児（受診率101.2%） ・1歳6か月児（受診率98.3%） ・3歳児（受診率97.9%） ・未受診者へは家庭訪問を実施	十分できている	子育て支援課
2	健康診査後の指導	○乳幼児健康診査等で把握した、経過観察が必要と思われる子どもとその保護者に対し、「どんぐりルーム」や健康相談等を実施します。さらに、内容の充実に努めるとともに、一人ひとりに応じた支援を行います。	・どんぐりルーム（368人） ・2歳、2歳6か月児健康相談（1,155人） ・チューリップ相談室（79人） ・ひまわり相談室（10人）	十分できている	子育て支援課
3	発達障害等への支援	○発達の遅れやその疑いのある子どもが適切な支援を受けられるよう、「ラッコちゃんルーム」や「ことばの相談室」等を開催します。 ○発達障害や高次脳機能障害について、県や関係団体との連携のもと情報提供等を行い、幅広く市民への知識の普及に努めます。 ◎巡回支援専門員による巡回相談を行います。	・ラッコちゃんルーム（3,565組） ・ことばの相談室（587組） ・巡回相談つくしんぼ（22回）	十分できている	子育て支援課 福祉総務課
4	成人の健康診査	○生活習慣病の予防に向け、特定健康診査、特定保健指導を実施します。健診受診率、保健指導実施率の向上に努めます。 ○障害の原因となる疾病の予防に向け、大腸がん検診等のがん検診、脳ドックを行います。がん検診の受診率の向上に努めます。	・特定健康診査（6,951人） ・がん検診（受診率28.1%）	十分できている	国保年金課 健康推進課
5	訪問指導	○訪問指導を行い、育児に関する相談を行います。 ○支援が必要な子どもや保護者に対して、保健師が継続した訪問や相談を行います。	・訪問指導（819件） ・あかちゃん訪問（1,140人） ・栄養相談（52人） ・母乳相談（63人）	十分できている	子育て支援課
6	心の健康づくり	○市民健康講座等を通じ、心の健康づくりに関する啓発と知識の普及に努めます。	・市民健康講座1回（20人） ・ゲートキーパー養成講座12回（374人） ・出張型こころの健康講座15回（342人） ・こころの健康講演会1回（51人） ・子ども若者向け講座4回（1,547人） ・女性向け講座2回（34人）	十分できている	健康推進課 子育て支援課
7	医療費の助成	○愛知県が実施する心身障害者・精神障害者医療費助成のほか、市独自の医療費助成制度により障害のある人の経済的負担を軽減します。	・心身障害者医療費助成（1,629人） ・精神障害者医療費助成（2,719人）	十分できている	国保年金課
8	訪問歯科診療	○歯科医師会が行うねたきり老人や障害のある人の自宅への訪問歯科診療事業を支援し、安心して歯科診療を受けられる体制を整備します。	・障害者宅への訪問歯科診療（171件）	十分できている	健康推進課
9	訪問看護	○精神障害のある人に対して、医療機関等が行う訪問看護について周知を図ります。	・訪問看護の申請件数（245件）	十分できている	福祉総務課
10	地域医療体制等の充実	◎疾患等の円滑な治療を行うため、地域におけるかかりつけ医と本市医療の中核的な役割を担う刈谷豊田総合病院が役割分担するとともに、医療に関する情報の共有を図るなどの連携体制を確保します。	・刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏域3市1町の診療所等の連携体制を確保	十分できている	健康推進課

11	居宅介護等	○介護給付による居宅介護、重度訪問介護、地域生活支援事業による移動入浴サービスの訪問系サービスを行い、障害のある人の自宅での生活を支援します。	・居宅介護 (151人/月) ・重度訪問介護 (16人/月) ・移動入浴 (8人/月)	十分できている	福祉総務課
12	移動支援等	○介護給付による行動援護、同行援護及び地域生活支援事業による移動支援を実施し、障害のある人の外出を支援します。	・同行援護 (16人/月) ・行動援護 (3人/月) ・移動支援 (100人/月)	十分できている	福祉総務課
13	自立訓練・生活介護等	○自立訓練、生活介護、療養介護等を行い、障害のある人の自立した日常生活や社会生活を支援します。	・自立訓練 (9人/月) ・生活介護 (200人/月) ・療養介護 (14人/月)	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
14	地域活動支援センター	○地域活動支援センターにおいて、創作活動や生産活動の機会の提供、機能訓練、社会との交流を促進します。	・利用者数 (61人/月)	十分できている	福祉総務課
15	障害福祉施設の整備、充実	○障害のある人の自立支援の拠点となる施設の充実を図ります。 ○老朽化した施設の整備計画を進めます。	・すぎな作業所の改築工事 ・障害者支援センターの外灯改修工事	十分できている	福祉総務課
16	短期入所	○家で介護を行う人が病気等の場合に、短期間、施設への入所ができる短期入所の適切なサービス提供を推進します。 ○重症心身障害児者等が短期入所を利用しやすい環境整備に努めます。	・短期入所 (62人/月) ・重症心身障害児・者短期入所補助制度 対象者 (9人) 延利用日数 (706日)	十分できている	福祉総務課
17	日中一時支援	○日中、障害者支援施設等において障害のある人（就学児以上）に活動の場を提供し、見守りや社会適応に必要な訓練を行う日中一時支援事業の適切なサービス提供を推進します。	・日中一時支援 (76人/月) 5事業所 定員55人	十分できている	福祉総務課
18	グループホーム	○地域において自立して暮らせるよう、障害特性に応じた住まいの場となるグループホームの整備を促進します。	・グループホーム (136人/月) 14事業所 定員161人	十分できている	福祉総務課
19	住宅改修費の支給	○個人の住宅の居室、浴室、トイレ等を障害のある人用に改修する場合に、住宅改修に要する費用の一部を支給します。	・支給決定件数 (5件)	十分できている	福祉総務課
20	市営住宅の障害者向け改修	○通路等のバリアフリー化やエレベーターの設置がなされている市営住宅を、障害のある人や高齢者向けの住戸として入居を推進します。	・一ツ木西住宅他を改修 (10戸)	十分できている	建築課
21	障害のある人の市営住宅への優先入居	○障害のある人や高齢者で、入居要件に該当する方に対し、市営住宅への優先入居を行います。 ●市営住宅への入居に関して、保証人免除の配慮を行い、居住に困難を抱えている人への住宅確保を支援します。	・住吉住宅他へ優先入居 (5戸うち障害者1戸) ・市営住宅の入居に関して、保証人を免除	十分できている	建築課
22	強度行動障害児者等への支援	○強度行動障害児者等が各種福祉サービス等を利用しやすい環境整備に努めます。	・生活介護5事業所 短期入所1事業所 施設入所支援1事業所 日中サービス支援型共同生活援助2事業所 対象者 5人 延利用日数 生活介護 930日 短期入所 49日 施設入所支援365日 日中サービス支援型共同生活援助 716日	十分できている	福祉総務課

事業 番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
23	聴覚障害者へのコミュニケーション支援	○手話通訳者、要約筆記者の派遣等を行い、聴覚障害のある人の意思疎通の円滑化を図ります。 ◎刈谷市手話言語条例に基づき、手話に対する理解の促進及び手話の普及を図ります。	・手話通訳等派遣件数（312件） ・奉仕員要約筆記ボランティア講座開催 ・手話設置通訳者として手話通訳者を配置 ・遠隔手話通訳サービスを導入 ・軽度・中等度難聴児補聴器購入費等の助成（申請件数 4件）	十分できている	福祉総務課
24	ボランティア団体への活動支援	○ボランティアガイドを務めるボランティア団体への活動支援を通じ、視覚障害のある人や脳性まひ者等全身障害者の社会参加や外出を支援します。	・ボランティアガイド利用者数（206人）	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
25	補装具費の支給	○障害のある人の身体機能を補完・代替する補装具の購入または修理に要する費用の一部について補装具費を支給します。	・支給実績件数 （205件）	十分できている	福祉総務課
26	日常生活用具費の支給	○日常生活上の便宜を図るため、障害のある人に対し、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排せつ管理支援用具の購入に要する費用の一部について日常生活用具費を支給します。	・支給実績件数（2,602件）	十分できている	福祉総務課
27	自動車運転免許取得費等の支給	○身体障害のある人が普通自動車運転免許を取得した場合に、その費用の一部を支給します。 ○身体障害のある人が就労等のために自ら運転する自動車の改造または重度の身体障害のある人の介護者が本人の移動のために自動車を改造もしくは購入する場合、その費用の一部を支給します。	・自動車運転免許取得費助成（4件） ・自動車改造費助成（8件）	十分できている	福祉総務課
28	福祉タクシー料金の助成	○電車、バス等の公共交通機関を利用することが困難な障害のある人に対し、福祉タクシー券を交付し、経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図ります。	・支給件数（3,073件）	十分できている	福祉総務課
29	各種手当の給付	○障害のある人の経済的負担を軽減し、地域で安定した生活が送れるよう、国・県の各種手当に加え、市で心身障害者扶助料を支給します。 ○難病のある人に対し、難病疾患見舞金を支給します。	・心身障害者扶助料（6,414件） ・難病疾患見舞金（1,287件）	十分できている	福祉総務課
30	高齢者・障害者単身世帯等の戸別収集	○家庭から出るごみや資源を集積場所まで運ぶことが困難な高齢者・障害者単身世帯等に対し、戸別の収集を行います。 ○利用世帯数の増加に応じて収集体制等の検討を行います。	・収集世帯数（障害者49世帯）	十分できている	ごみ減量推進課
31	地域生活支援拠点等の整備	●障害のある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための相談、緊急時の受入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり等の機能を備えた地域生活支援拠点等の充実を図ります。	・一人暮らし体験制度の検討 ・地域生活支援拠点等検討部会（3回）	十分できている	福祉総務課
32	障害のある人の地域移行	○医療機関等との連携のもと、障害のある人の地域生活への移行支援及び定着支援に向け、各種サービスの充実を図ります。 ○施設入所者や、病院に入院している障害のある人の地域移行を進める事業（地域移行支援、地域定着支援、自立生活援助）を推進します。	・各機関が連携して、地域移行の可能性のある人の情報を共有、退院を支援	十分できている	福祉総務課

33	障害のある人の家族支援	<p>◎基幹相談支援センターや障害福祉サービス等事業所との連携のもと、ヤングケアラーや、社会的な孤立、8050問題等、障害のある人本人に加え家族を支援するために必要なサービスの提供体制を整備します。</p> <p>◎「親亡き後」を見据え、当事者、家族、地域の関係機関と協働し、世帯単位で必要な支援体制の整備に向けての協議を進めます。</p>	・基幹相談支援センターや障害福祉サービス等事業所との連携のもと、個別ケースについて検討会議を実施	十分できている	福祉総務課
34	刈谷市障害者自立支援協議会の運営	○保健、医療、学校、企業、就労支援等の関係者、相談支援事業者、サービス事業者、当事者団体、行政機関等で構成する刈谷市障害者自立支援協議会において、地域の障害福祉に関するシステムづくりを進めます。	・自立支援協議会（2回）	十分できている	福祉総務課
35	障害者相談支援事業	<p>○特定相談支援事業所等との連携のもと、障害のある人からの相談に対応し、助言や情報提供等の支援を行います。</p> <p>○特定相談支援事業所との連携を強化し、障害のある人のニーズや特性に応じたサービス等利用計画の作成を行うとともにモニタリングを実施し、障害のある人を取り巻く環境の変化等に対応します。</p> <p>○特定相談支援事業所等の体制強化に努めます。</p>	<p>・相談件数 (5,379件)</p> <p>・計画作成件数 (1,571件)</p> <p>・相談支援連絡会 (7回)</p>	ややできている	福祉総務課
36	障害児相談支援事業	<p>○障害児相談支援事業所等との連携のもと、障害のある子どもやその保護者からの相談に対応し、助言や情報提供等の支援を行います。</p> <p>○障害児相談支援事業所との連携を強化し、障害のある子どもの障害児通所支援の利用にあたっての障害児支援利用計画の作成を行うとともにモニタリングを実施し、障害のある子どもを取り巻く環境の変化等に対応します。</p> <p>○障害児相談支援事業所等の体制強化に努めます。</p>	<p>・相談件数 (2,119件)</p> <p>・計画作成件数 (994件)</p> <p>・子ども連絡会 (3回)</p>	ややできている	福祉総務課
37	市相談窓口の充実	<p>○市福祉総務課の窓口において福祉サービスに関する相談、助言、情報提供を行い、高い専門性が必要とされる相談内容については、専門機関と連携を図りながら必要な支援を行います。</p> <p>○研修等への参加を通じ、相談にあたる職員の知識の向上に努めます。</p>	実施	十分できている	福祉総務課
38	基幹相談支援センターの運営	<p>○基幹相談支援センターに相談支援専門員を配置し、年齢や障害の種類を問わず、障害に関する様々な悩みごとや困りごとの相談に対応します。</p> <p>○基幹相談支援センターを中心に、市内の相談機関や、障害のある人が利用する障害福祉サービス提供事業所、医療機関、学校等との連携を強化します。</p>	<p>・相談件数 (2,053件)</p> <p>・各部会の開催</p> <p> 地域生活支援拠点等検討部会 (3回)</p> <p> 就労支援部会 (3回)</p> <p> 相談支援部会 (4回)</p> <p> 子ども部会 (3回)</p> <p> 福祉人材研修部会 (3回)</p>	十分できている	福祉総務課
39	声の市民だより	○「声の市民だより」により、視覚障害のある人へ市の行政情報、その他公的な情報を提供します。	・掲載回数（年間24回）	十分できている	広報広聴課
40	情報のバリアフリー化の推進	<p>○市民だよりやホームページについて、文字の大きさやフォント、色彩等に配慮し、障害のある人にとって見やすく、わかりやすい情報の提供に努めます。</p> <p>○障害のある人の特性やニーズに対応した情報提供の方法等を把握し、必要に応じて導入していきます。</p>	<p>・市民だよりユニバーサルデザインフォントを使用</p> <p>・Webアクセシビリティに準拠したホームページの運用管理</p> <p>・ビデオ広報にナレーションのテロップを整備</p> <p>・市民だよりの点字翻訳版を作成</p>	十分できている	広報広聴課

事業番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
41	刈谷の福祉ガイド	○手帳取得の手続きやサービス内容を紹介する「刈谷の福祉ガイド」を毎年度改訂し、配布します。 ○ガイドの紹介や配布の方法について研究し、サービスを必要とする人に情報が届くよう努めます。 ○市内の事業所にサービスの情報を提供します。	実施	十分できている	福祉総務課
42	I C T活用等の促進	◎ I C Tの活用を促進することで、誰もが同じように必要な情報を入手し活用できる仕組みの構築や住民サービスの充実、業務の効率化を図ります。	・ 障害者団体へのスマホ教室（2回） ・ 窓口での申請手続きのオンライン化を検討	ややできている	情報政策課 福祉総務課
43	成年後見制度	○刈谷市成年後見支援センターを運営し、成年後見制度に係る相談、手続支援、啓発、後見人等支援を行います。 ◎判断能力が十分ではない障害のある人等のうち、身寄りがいない場合等、当事者による審判請求が期待できない状況にある人について、市長が代わって審判請求を行います。 ○サービス利用の観点から、成年後見制度を利用する必要性がある知的障害または精神障害のある人に対し、制度の利用を支援します。 ◎刈谷市権利擁護支援推進協議会を中心に、保健・医療・福祉・介護等幅広い関係者や地域住民により、本市の権利擁護支援を推進するとともに、受任者調整会議により受任候補者の調整を行います。 ◎後見業務等の担い手の一つとして、社会福祉協議会が法人として後見人等を受任します。	・ 相談件数（115件） ・ 専門相談会（2回） ・ 手続き支援（9件） ・ 市長申立て（9件） ・ 成年後見制度やセンターの役割、福祉関係者の抱える課題についての普及活動 ・ 権利擁護支援推進協議会（2回） ・ 受任者調整会議（7回） ・ 社会福祉協議会（法人）による後見人等の受任（8件）	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
44	日常生活自立支援事業	○判断能力が十分でない障害のある人等が、地域で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行います。	・ 契約者数（44件） ・ 支援件数（1,225件）	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
45	虐待の防止と被虐待者の保護	○障害者虐待の防止等に関する広報、その他啓発活動を行います。 ○障害者虐待防止センターの機能を含め、通報・報告等に係る体制の整備を行います。 ○被虐待者を一時的に保護できる場所を確保します。	・ 障害者虐待防止センターを設置し、通報等に対応 ・ 虐待等による緊急一時保護居室の確保 ・ 児童虐待防止推進月間に合わせて広報誌への掲載や、小中学校等にリーフレットを配布する啓発活動	十分できている	福祉総務課 子育て推進課
46	総合的な権利擁護の推進	○障害のある人の増加や高齢化等に対応するため、支援体制のあり方について検討を進めます。	・ 障害者の相談支援、成年後見支援センター、日常生活自立支援事業の各種相談対応を通じて、虐待など障害者の権利侵害の早期発見・予防を実施	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
47	児童発達支援センター	○児童発達支援センターとして位置付けられた、しげはら園や民間事業所において、障害のある子どもや発達に遅れのある子どもに対し、基本的な生活習慣及び集団生活への適応性を養う早期療育を行うとともに、相談支援等の機能を整備します。 ◎障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携を図り、療育に関わる人への支援を行います。	・ しげはら園延べ利用件数（5,914件） ・ ひかりっこ延べ利用件数（2,680件） ・ 障害福祉サービス事業所の見学会・児童の支援者会議（37件）	十分できている	子育て支援課
48	保育及び就学前教育の充実	○障害のある子どもの理解と指導についての研修を深め、すべての保育園・幼児園で障害のある幼児の受け入れを行います。 ○保育士や幼児園教諭等の加配により、障害のある幼児の受け入れ体制の充実を図ります。	・ 障害児保育補助を配置し、障害児や気になる児童に対する受け入れ体制を整備 ・ 受入数 保育園（184人） 幼児園（229人）	十分できている	子ども課

49	保育カウンセラーの実施	○保育園や幼児園に通園している障害のある子どもや保護者、保育者に対し、臨床心理士等が園に訪問指導を行います。	・臨床心理士等がカウンセラーとして定期的に訪問（保育園:17園、乳児園:4園、幼児園:15園）	十分できている	子ども課
50	刈谷市立刈谷特別支援学校での支援の充実	○衣浦定住自立圏域(刈谷市、知立市、高浜市)の肢体不自由のある児童生徒にとって、安心安全に学校生活を送ることができるとともに、特色と魅力のある学校づくりに努めます。 ◎ICTを活用し、地域の学校との共同学習の機会を創出します。	・8名の看護師が校内に常駐して医療的ケアを実施 小学部25名在籍（うち医療的ケア児9名） 中学部15名在籍（うち医療的ケア児8名） 高等部17名在籍（うち医療的ケア児3名） ・ICTを活用した地域の学校とのオンライン交流	十分できている	学校教育課
51	特別支援教育の推進	○特別支援教育コーディネーターの各校への配置や、校内委員会の設置、研究会の開催、巡回相談の実施などを通じ、障害のある児童生徒への教育体制を整備し、一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行います。	実施	十分できている	学校教育課
52	個別教育支援計画	○一人ひとりの習熟に合った個別的教育支援計画や、個別の指導計画を作成します。	・個別的教育支援計画の作成率（100%）	十分できている	学校教育課
53	インクルーシブ教育	○インクルーシブ教育の理念に基づき、国等の動向を踏まえ、地域の学校で障害のある児童生徒が学べる環境を整備します。	実施	十分できている	学校教育課
54	通級指導の充実	○言語障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）のある児童を対象とした通級教室を設置し、指導の充実に努めます。 ○注意欠陥多動性障害（ADHD）等の児童が増加していることを踏まえ、通級教室の拡大を県に要望します。	・通級教室の設置（12校） 北部 富士松南小、かりがね小、富士松東小、雁が音中、富士松中 中部 亀城小、小高原小、住吉小、 南部 東刈谷小、小垣江小、双葉小、朝日中	ややできている	学校教育課
55	関係機関との連携	○刈谷市障害者自立支援協議会を中心として、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携する体制を整備します。 ○特別支援教育連携協議会の開催を通じ、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携した児童生徒への支援に努めます。 ○障害のある児童について、小学校入学前に個別的教育支援計画を作成し、保育園、幼稚園から小学校、中学校に至るまで、一体的な指導が行える体制を整備します。	・自立支援協議会（2回） ・特別支援教育連携協議会（2回）	ややできている	福祉総務課 学校教育課
56	支援員・補助員の配置	○市内全小学校に学校教育活動支援指導補助員を配置するとともに、必要に応じて特別支援学級児童生徒支援指導補助員と肢体不自由児童生徒介助支援員を配置します。 ○より継続した指導を行うため、支援員・補助員の増員、勤務日数の増加を検討します。	・肢体不自由児童生徒介助支援員（6名） ・特別支援学級児童生徒支援指導補助員（32名）	十分できている	学校教育課
57	学校施設のバリアフリー化の推進	○必要に応じてスロープの設置等を行うなど、学校施設のバリアフリー化を推進します。 ○学校施設の改築の際には、バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点から建設を進めます。	・段差解消（雁が音中学校体育館等の出入口）	十分できている	教育総務課
58	就学相談・情報提供の充実	○教育支援委員会の開催や、就学相談、特別支援学校への体験入学等を通じ、障害のある児童生徒の就学を支援します。	・就学相談の実施 ・特別支援学校の体験入学、西三河地区早期教育相談の広報等による周知	十分できている	学校教育課
59	障害のある子どもの進路指導の推進	○職場実習や卒業生からの進路を学ぶ会等の実施を通じ、障害のある児童生徒が、自身の将来の進路や職業を考える機会を設けます。	・自立と社会参加に向け、卒業生から進路を学ぶ会、合同職場実習を実施	十分できている	学校教育課

事業 番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
60	放課後児童クラブの充実	○放課後児童クラブ施設のバリアフリー化を進め、障害のある児童の受け入れに努めます。	・放課後児童クラブへの登録 （特別支援学級児童19人） ・外部講師による巡回指導	十分できている	子育て推進課
61	放課後子ども教室の充実	○放課後子ども教室において、障害のある児童の受け入れに努めます。	・放課後子ども教室への受け入れ （特別支援学級児童4人）	十分できている	生涯学習課
62	レスパイト	○夏休み等の長期休暇における障害のある中・高校生等の日中活動の場の確保及び家族の休息を図るため、障害者支援施設等で日中において一時的に受け入れるレスパイト事業を実施します。	・レスパイト（18人/年）	十分できている	福祉総務課
63	児童発達支援	○障害のある子どもの身近な療育の場として、地域の障害のある子どもを対象に、基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う児童発達支援事業を実施します。	・児童発達支援（175人/月）	十分できている	福祉総務課
64	放課後等デイサービス	○学校通学中の障害のある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中の居場所づくりや訓練の場を提供する放課後等デイサービスを実施します。	・放課後等デイサービス（433人/月）	十分できている	福祉総務課
65	保育所等訪問支援	○保育園等を利用している障害のある子どもに対して、障害児施設等で指導経験のある児童指導員、保育士による訪問指導を行います。	・保育所等訪問支援（75人/月）	十分できている	福祉総務課 子育て支援課
66	ファミリー・サポート・センターの充実	○ファミリー・サポート・センターに登録する援助会員への講習会等の実施により、障害のある子どもへの対応ができる会員の確保・養成に努めます。	・援助会員養成講座（4回） ・援助会員、依頼会員のフォローアップ講習会（1回）	十分できている	子育て支援課
67	医療的ケア児の保育・学習環境の整備	◎刈谷市立刈谷特別支援学校に看護師を配置し、安心安全な学習環境を提供します。 ◎長期欠席時でもタブレット端末を活用したオンラインによる学習支援を提供します。 ◎医療的ケアを必要とする子どもの保護者負担を軽減するとともに、対象児の学習環境等を確保し、自立を促すため、学校等における対象児の医療的ケアに係る訪問看護を提供します。	・刈谷市立刈谷特別支援学校に看護師を配置（8名） ・タブレット端末を活用したオンラインによる学習支援 ・医療的ケア児学校等訪問看護利用者数（6人）	十分できている	福祉総務課 学校教育課
68	医療的ケア児への日常生活支援	◎医療的ケアが必要な子どもの身近な療育の場として、児童発達支援や、放課後等デイサービス等を実施します。 ◎刈谷市障害者自立支援協議会において、医療的ケア児及び家族への支援について、関係機関と協議します。 ◎医療的ケア児等コーディネーターを配置し、多様化する医療的ケアに関するニーズを把握し、地域で安心して生活できるよう関係機関との調整を行います。 ◎刈谷市内の医療的ケアを必要とする子どもの実数を把握し、支援を必要とする子どもへのアプローチを図ります。	・医療的ケア児に児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業等を支給 ・刈谷市障害者自立支援協議会子ども部会にて、医療的ケア児及び家族支援について検討（3回） ・医療的ケア児等コーディネーターを配置し、関係機関との調整、支援体制の検討会を実施 ①コーディネーター（6人） ②検討会（2回） ・医療的ケア児の実態調査を行うとともに、個別の支援体制整備に向けた調整を実施（47人）	十分できている	福祉総務課

69	企業等への働きかけ	○障害のある人の雇用義務制度や、企業の社会的責任等の啓発を行います。 ○パンフレット等の活用により、各種助成制度等の情報提供を行います。	・障害者の雇用促進と職場定着を進めるため、各種助成金等の啓発を国、県等と連携して実施	ややできている	商工業振興課
70	就労支援ネットワーク	○障害のある人の一般就労を促進するため、刈谷市障害者自立支援協議会を中心として、特別支援学校等の教育機関、公共職業安定所等の就労関係機関、就労移行支援を行う事業所、企業等と情報を交換し、連携を図ります。	・事業所、企業等と情報を交換し、連携を図る場として障害者雇用セミナーを開催（参加企業19社）	十分できている	福祉総務課
71	市職員の障害者雇用の拡大	○引き続き障害者雇用率が法定雇用率を上回るよう職員の計画的な採用を行います。 ○職場のバリアフリー化や就労形態の工夫により、障害のある人が働きやすい環境づくりに努めます。	・職員採用人数3人（身体障害2人、精神障害1人） ・会計年度任用職員採用人数4人（身体障害1人、精神障害3人）	十分できている	人事課
72	障害者雇用企業の評価	○総合評価落札方式で行う工事入札において、障害のある人の雇用に積極的に取り組む企業を評価することにより、企業における障害のある人の雇用を促進します。	・総合評価落札方式による入札件数（26件）うち、障害者雇用率の達成による加点評価を受けた企業の落札件数（8件）	十分できている	契約検査課
73	障害者就業・生活支援センターとの連携強化	○西三河南部西圏域の障害のある人の就労支援に関して中心的な役割を担う、障害者就業・生活支援センターとの連携強化を図ります。	実施	十分できている	福祉総務課
74	起業への支援	○刈谷市市民活動支援基金の活用により、NPO法人の設立活動を支援します。 ○刈谷市民ボランティア活動センターにおける相談や講座等を通じ、NPO法人の設立活動を支援します。	・市民活動支援基金を活用し、NPO法人設立支援として補助対象事業を募集（交付1件） ・NPO法人設立活動支援として、団体のレベルアップ・人材育成のための「スキルアップ講座」を開催	ややできている	市民協働課
75	「農」と福祉の連携推進	○農業に取り組む障害者就労施設等に対し、農作物の販路について支援を行います。	・農福連携セミナー等に参加（2回） ・農業関係のイベントで、農業に取り組む障害者就労施設を紹介するチラシを配布・施設の周知を実施 ・農作物の販路に課題を抱える障害者就労施設に対し、農協と情報を共有	十分できている	農政課
76	就労移行支援	○福祉施設から一般就労等への移行に向けて、基礎的な訓練の実施、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後における職場定着等、障害のある人の就労移行支援事業を行います。	・就労移行支援（48人/月）	十分できている	福祉総務課
77	就労継続支援	○一般就労が困難な障害のある人等を対象に、通所により働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行う就労継続支援事業を行います。	・就労継続支援A型（151人/月） ・就労継続支援B型（380人/月）	十分できている	福祉総務課
78	就労定着支援	○障害のある人の就労後における職場定着率の向上のために就労定着支援事業を行います。	・就労定着支援（33人/月）	十分できている	福祉総務課
79	工賃水準の向上	○就労継続支援事業所等の工賃水準の向上を図るため、事業所製品の展示・販路拡大等に努めます。 ○「刈谷市障害者就労施設等からの物品及び役務の調達方針」を庁内に広く周知し、就労継続支援事業所等からの物品、役務の調達を拡大します。	・市役所において事業所製品の展示及び販売 ・市内就労施設の製品及び作業カタログを作成	ややできている	福祉総務課 社会福祉協議会
80	就職支度金の支給	○社会復帰の促進を図ることを目的として、就労移行支援事業を利用して人が、訓練を終了し就職等により自立する場合に就職支度金を支給します。	・支給件数（3件）	十分できている	福祉総務課

事業 番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
81	障害のある人の雇用への理解促進	○障害のある人を雇用している企業や、企業で活躍している障害のある人の紹介を行う等、障害者雇用への理解の促進を図ります。	・事業所、企業等と情報を交換し、連携を図る場として障害者雇用セミナーを開催（参加企業19社）	十分できている	福祉総務課
82	スポーツ大会激励金	○スポーツ大会への参加を支援するため、全国大会等に出場する障害のある人に激励金を交付します。	・支給件数（全国大会4件）	十分できている	福祉総務課
83	スポーツ活動への参加支援	○スポーツ活動への障害のある人の参加を支援するため、ボランティアや指導者の育成に努めます。 ○総合型地域スポーツクラブ等で、障害のある人も参加できるプログラムの提供に努めます。	・子どもから高齢者まで、気軽に楽しめる種目を紹介、体験機会を提供（スポーツふれあいday8回、ノルディック・ウォークステーション9回） ・障害者スポーツの普及 ・スポーツ推進委員の派遣指導	十分できている	スポーツ課
84	スポーツ教室の開催	○一人でも多くの人々がスポーツに親しめるよう、障害のある人が参加できるスポーツ教室を開催します。	・3B体操参加者数（151人） ・機能訓練講座参加者数（399人） ・ボッチャ大会の開催（63チーム179人）	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会
85	文化芸術活動機会の充実	○障害のある人が開催・参加する作品展・文化展等を支援します。	・文化協会及び音楽協会が主催する事業に、障害のある人が参加するための取組について各団体と協議 ・刈谷市身体障害者福祉協会主催の作品展と社会福祉協議会主催の市民講座作品展を合同で開催	十分できている	文化観光課 福祉総務課 社会福祉協議会
86	企画展の無料化	○障害のある人が文化芸術作品にふれられるよう、企画展の無料化を実施します。	・歴史博物館及び美術館の有料企画展の入場料を無料化（計4回）	十分できている	文化観光課
87	文化施設等のバリアフリー化の推進	○文化施設等において、障害のある人が安心して活動できる環境を整備します。 ●磁気ループシステムの使用により、聴覚障害のある人が参加しやすい環境づくりを進めます。 ◎市の主催事業において、手話通訳・要約筆記を設置し、市民が文化に親しむ機会を創出します。	・良好な施設状態を維持 ・講演会などにおいて、磁気ループシステムの使用により、聴覚障害のある人が参加しやすい環境づくりを推進 ・市民大学講座において、手話通訳・要約筆記を実施	十分できている	文化観光課 生涯学習課
88	市立図書館サービスの充実	○大活字本や録音図書等の充実、対面朗読や音訳資料の配送サービスの充実を図り、視覚障害のある人の利用を促進します。 ○ボランティアによる朗読サービスの活動を支援します。 ◎電子図書館の利用を促進します。	・視覚障害のある方も利用できる図書を購入（大活字本106冊、LLブック2冊） ・図書館を活用した音声訳ボランティアによる録音図書の提供、朗読サービスの活動支援 ・視覚障害者用電子図書館（アクセシブルライブラリ）を導入（アクセス数436件）	十分できている	生涯学習課
89	公共施設等のバリアフリー化の推進	○新設する公共施設について、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を行います。 ○既存の公共施設について、利用者の要望を把握しながらバリアフリー化を推進します。 ○投票所入り口の段差へのスロープ設置や、点字投票、代理投票等の制度について周知を行い、障害のある人が選挙に参加する機会を保障します。	・投票所4箇所、期日前投票所1箇所にスロープを設置 ・点字投票・代理投票の制度や、投票所で受けられる支援等についての周知 ・オストメイト設備を備えたバリアフリーストイレ設置（富士松市民センター、刈谷幼児園、小高原幼児園、新すぎな作業所、かりがね保育園） ・体育館のトイレ洋式化及び手摺設置（日高小学校、かりがね小学校、亀城小学校、双葉小学校、衣浦小学校、富士松北小学校、富士松東小学校、刈谷東中学校、富士松中学校、雁が音中学校）	十分できている	施設保全課 総務文書課

90	民間施設のバリアフリー化の促進	<p>○市内の民間施設に対し、バリアフリー化に関する啓発活動を行います。</p> <p>○多くの市民が利用する医療機関や金融機関、飲食店等、公共性の高い民間施設のバリアフリー化に対し、補助を行うとともに、制度を周知し利用を促進します。</p>	・バリアフリー改修工事に対する補助（3件）	十分できている	建築課
91	わかりやすいサインの整備	○公共施設の案内板等の新設、修正において、障害のある人にもわかりやすい表示や色彩、デザインとなるよう努めます。	・刈谷駅南北連絡通路のサイン設置に向けて、管理者等との調整を実施	ややできている	都市交通課
92	刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」の充実	<p>○刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」を運行し、障害のある人や高齢者等の社会参加を促進します。</p> <p>○路線の再編やバス停のシェルター、ベンチ等の整備を推進します。</p> <p>◎運行事業者と共にバリアフリー教育の実施に取り組み、誰もが安心して利用できる環境を整えます。</p>	<p>・車椅子利用者（1,357人）</p> <p>・地域住民や障害者相談支援事業所職員等が参加する意見交換会での意見を参考に、公共施設連絡バスの新路線案を検討</p> <p>・運行事業者が出席する連絡会において、バリアフリー教育を実施</p>	十分できている	都市交通課
93	安全な歩行空間の整備	<p>○電線類の地中化、自転車と歩行者の分離を行うなど、誰もが歩きやすい安全な歩行空間の創出を図ります。</p> <p>○段差の解消等を考慮した歩道整備等を推進します。</p>	・整備設計箇所（桜町他2か所）	十分できている	道路建設課
94	防災に関する啓発の推進	<p>○防災に関する広報や、地域の自主防災訓練への支援、防災講話の実施等を通じ、地域の防災活動を推進するとともに、障害のある人の防災訓練への参加を促進します。</p> <p>○要望に応じて、障害者福祉施設等に対し防災知識の普及や啓発を行います。</p>	<p>・地区の防災訓練における防災講話（7回）</p> <p>・自主防災推進会議（2回）</p> <p>・防災啓発冊子を増刷し、転入世帯に配布</p>	十分できている	危機管理課 福祉総務課
95	避難行動要支援者の把握と地域のネットワークの構築	<p>○地域、関係機関及び関係課が連携し、避難行動要支援者の把握を進めるとともに、個人情報等に配慮しながら情報の一元化と共有体制を整備します。</p> <p>○地域、関係機関及び関係課が連携し、避難行動要支援者の個別支援計画を作成していきます。</p>	<p>・避難行動要支援者の個別避難計画策定の促進</p> <p>・地域や関係課と連携し、避難行動要支援者の把握及び情報の一元化</p> <p>・避難行動要支援者調査の実施</p>	十分できている	危機管理課 福祉総務課
96	災害時等の情報伝達	○FM放送を活用した防災ラジオや、防災行政無線、メール配信サービス等を用いて、障害のある人等への情報伝達体制の整備に努めます。	<p>・防災ラジオの販売</p> <p>・災害時緊急情報等を知らせる刈谷市メール配信サービスの提供</p>	十分できている	危機管理課
97	避難所等における配慮	<p>○避難所において障害のある人が生活に困らないよう、必要な配慮について共有化を図ります。</p> <p>○関係機関と連携し、一般避難所の福祉スペース、福祉避難所及び医療救護所の充実を図ります。</p> <p>○聴覚障害のある人に状況説明や物資の配給等の情報が伝わるよう、文字情報を提供します。</p> <p>○医師会等関係団体との連携のもと、災害時の医療体制を整備します。</p>	<p>・福祉避難所への要配慮者の特性に合わせた備蓄品の配備</p> <p>・福祉避難所開設訓練の実施</p> <p>・地区と連携した個別避難計画作成支援の実施</p> <p>・災害時障害者支援用バンダナを作製・配布</p> <p>・災害時医療救護所開設訓練の実施</p>	十分できている	危機管理課 福祉総務課 健康推進課 子育て支援課 教育総務課

事業番号	事業名	内容（○：継続 ◎：新規 ●：変更）	実績	進捗状況	担当課
			R6		
98	防犯対策の推進	<p>○市民だよりや刈谷市ポータルアプリ「あいかり」等を活用して家庭における防犯対策等の情報を提供し、注意を促します。</p> <p>○防犯協会等と連携した啓発活動により防犯意識の向上をめざします。</p> <p>◎警察及び地域と連携し、防犯灯や街頭防犯カメラの適切な設置及び維持管理等と併せ、より効果的な防犯対策を検討し、推進に努めます。</p> <p>○市民相談や消費生活相談を実施します。</p> <p>◎消費者安全確保地域協議会を通じて、社会福祉協議会や警察と連携しながら消費者被害防止の啓発に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民だよりやあいかり等を活用し、防犯に関する情報を提供 ・防犯協会等と連携した啓発活動 ・警察及び地域と連携し、防犯灯や街頭防犯カメラの適切な設置及び維持管理等と併せ、より効果的な防犯対策を検討 ・市民相談、消費生活相談の対応 ・消費者安全確保地域協議会を通じて、被害防止対策に関する啓発を実施 	十分できている	くらし安心課
99	市民の理解促進	<p>○市民だよりやホームページ、社会福祉協議会の機関紙等を通じ、障害や障害のある人への理解を進める広報・啓発活動を行います。</p> <p>○障害特性の理解と対応方法について広報・啓発活動を行います。</p> <p>○障害者週間の周知やヘルプマークなど障害のある人に関するマーク等の普及・啓発を図ります。</p> <p>○障害を理由とする差別の解消を推進するため、「障害者差別解消法」の周知を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙「刈谷市社協だより」を発行（4回） ・公式Instagramを活用し、社会福祉協議会が実施する障害者関係事業や業務についての情報発信（フォロワー数 1,352人） ・ヘルプマークを配布（726個） 	ややできている	福祉総務課 社会福祉協議会
100	市職員の理解促進	○市職員を対象として福祉体験研修等を実施し、障害の特性や障害のある人についての理解の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員を対象に障害の特性や障害のある人についての理解促進を図るとともに福祉体験研修を実施 ・障害者差別解消法講座の実施（新規採用職員） 	十分できている	人事課 福祉総務課
101	学校における福祉教育の推進	<p>○小中学校において、社会福祉協議会との連携による福祉実践教育を実施します。講義やボランティア体験学習等の実施により、障害者福祉等に関する知識や理解を深め、将来的なボランティアの担い手の育成を図ります。</p> <p>○小中学校の「総合的な学習の時間」等の中で、福祉をテーマとした学習を進めます。</p> <p>○交流学習を通じて、障害のある児童生徒についての正しい理解と接し方のマナーを身につけていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、児童・生徒福祉実践教室の実施（21校、5,961人） ・小中学校の「総合的な学習の時間」等の中で、福祉をテーマとした学習を推進 ・中高生に、夏休み期間のボランティア体験学習の機会を提供（429人） ・社会福祉教育指定校研修会を開催し、小中高生に障害者との交流の機会を提供（3回15人） 	十分できている	学校教育課 社会福祉協議会
102	教職員の障害者理解	○小中学校の教職員を対象に研修等を実施し、障害と障害のある児童生徒についての知識を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級担当者会、特別支援教育研修会を開催 ・授業研究会を実施 	十分できている	学校教育課
103	施設祭り・イベントの開催支援	<p>○障害者支援施設等において、地域住民との交流が図られるよう、夏祭り等のふれあいの場づくりを支援します。</p> <p>○障害のある人に対し、各種行事等に障害のある人が参加しやすくなるよう、啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの里夏祭りの開催 ・市ホームページ及び市民だよりで手話通訳者・要約筆記者派遣制度について周知を図るとともに、市主催のイベント等では会場に手話通訳者・要約筆記者を配置 	十分できている	福祉総務課 社会福祉協議会

104	児童生徒の交流	○障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の相互理解を深めるため、特別支援学校と小中学校、保育園、幼児園等との交流の機会を設けます。	・交流保育（さくら保育園としげはら園…10回、日高幼児園とひかりっこ…10回） ・幼児園体験の実施	ややできている	子ども課 学校教育課
105	ボランティアの育成と活動支援	○刈谷市民ボランティア活動センターと社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携を強化し、ボランティアに関する情報提供や相談、活動のコーディネートを行います。	・刈谷市民ボランティア活動センターや社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて活動をコーディネート ・まちづくりに関する交流会や講座、情報提供等を実施し、交流や相互理解を深める機会を創出 ・ボランティア団体に活動補助金を交付（78団体）	ややできている	市民協働課 社会福祉協議会
106	地域住民の理解と支援	○障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりや、災害時の避難支援の充実に向け、地域の支えあい・助けあい活動を促進します。 ○地区社会福祉協議会の活動支援を行い、地域の支えあい・助けあい活動を促進します。	・避難行動要支援者調査を参考に、地域の自主防災会や民生委員・児童委員と、平時の見守り活動・災害時の支援体制の構築に向けた支援を実施 ・北部地区社会福祉協議会と南部地区社会福祉協議会及び中部地区社会福祉協議会の活動を支援	ややできている	福祉総務課 社会福祉協議会
107	障害のある人の社会貢献活動の支援	○障害のある人が他の障害のある人を支援する「ピアサポート」「ピアカウンセリング」等の障害のある人が行う社会貢献活動を促進します。	・障害者やその家族が互いの悩みを相談できる交流の場を提供する団体の活動を支援	十分できている	福祉総務課
108	民生委員・児童委員の活動促進	○地域の福祉活動の相談役、推進役として重要な役割を担う民生委員・児童委員に対し、障害や障害のある人に関する知識を深めるための研修等の開催や、関係機関との連携について支援します。	・障害者福祉部会で、障害者スポーツボッチャの研修会を実施 ・刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会で障害者への接し方についての研修会を開催	十分できている	福祉総務課
109	当事者団体の活動への支援	○活動場所や情報の提供等を通じ、団体の主体性を尊重した活動支援を行います。 ○希望する人が加入できるよう、当事者団体の活動のPRを行います。	・3団体に補助金を支給し、活動支援を実施	十分できている	福祉総務課

目標達成に向けた課題等（内容・実績等については再掲）

事業 番号	事業名	内容（○：継続　◎：新規　●：変更）	R6実績	担当課
		「十分できている」にするための課題等		
35	障害者相談支援事業	○特定相談支援事業所等との連携のもと、障害のある人からの相談に対応し、助言や情報提供等の支援を行います。 ○特定相談支援事業所との連携を強化し、障害のある人のニーズや特性に応じたサービス等利用計画の作成を行うとともにモニタリングを実施し、障害のある人を取り巻く環境の変化等に対応します。 ○特定相談支援事業所等の体制強化に努めます。	・相談件数 (5,379件) ・計画作成件数 (1,571件) ・相談支援連絡会開催（ 7回）	福祉総務課
相談支援事業所等の体制強化及び相談支援専門員の確保に向け取り組んでいく				
36	障害児相談支援事業	○障害児相談支援事業所等との連携のもと、障害のある子どもやその保護者からの相談に対応し、助言や情報提供等の支援を行います。 ○障害児相談支援事業所との連携を強化し、障害のある子どもの障害児通所支援の利用にあたっての障害児支援利用計画の作成を行うとともにモニタリングを実施し、障害のある子どもを取り巻く環境の変化等に対応します。 ○障害児相談支援事業所等の体制強化に努めます。	・相談件数 (2,119件) ・計画作成件数 (994件) ・子ども連絡会開催 (3回)	福祉総務課
相談支援事業所等の体制強化及び相談支援専門員の確保に向け取り組んでいく				
42	I C T活用等の促進	◎ I C Tの活用を促進することで、誰もが同じように必要な情報を入手し活用できる仕組みの構築や住民サービスの充実、業務の効率化を図ります。	・障害者団体へのスマホ教室を開催（2回） ・窓口での申請手続きのオンライン化を検討	情報政策課 福祉総務課
関係課の事例を参考にしながらオンライン手続きの体制を整えていく				
54	通級指導の充実	○言語障害、学習障害（L D）、注意欠陥多動性障害（A D H D）のある児童を対象とした通級教室を設置し、指導の充実に努めます。 ○注意欠陥多動性障害（A D H D）等の児童が増加していることを踏まえ、通級教室の拡大を県に要望します。	・通級教室の設置（12校） 北部 富士松南小、かりがね小、富士松東小、雁が音中、富士松中 中部 亀城小、小高原小、住吉小、 南部 東刈谷小、小垣江小、双葉小、朝日中	学校教育課
通級指導教室への入級希望者は増加しているため、通級教室の拡大を図る				
55	関係機関との連携	○刈谷市障害者自立支援協議会を中心として、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携する体制を整備します。 ○特別支援教育連携協議会の開催を通じ、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携した児童生徒への支援に努めます。 ○障害のある児童について、小学校入学前に個別的教育支援計画を作成し、保育園、幼稚園から小学校、中学校に至るまで、一体的な指導が行える体制を整備します。	・自立支援協議会（2回） ・特別支援教育連携協議会（2回）	学校教育課
特別支援教育連携協議会の内容をより充実させる				

69	企業等への働きかけ	<p>○障害のある人の雇用義務制度や、企業の社会的責任等の啓発を行います。</p> <p>○パンフレット等の活用により、各種助成制度等の情報提供を行います。</p>	<p>・障害者の雇用促進と職場定着を進めるため、各種助成金等の啓発を国、県等と連携して実施</p>	商工業振興課
各種助成金等の啓発を行うとともに、障害者雇用セミナーの参加企業を増やしていく				
74	起業への支援	<p>○刈谷市市民活動支援基金の活用により、NPO法人の設立活動を支援します。</p> <p>○刈谷市民ボランティア活動センターにおける相談や講座等を通じ、NPO法人の設立活動を支援します。</p>	<p>・市民活動支援基金を活用し、NPO法人設立支援として補助対象事業を募集（交付1件）</p> <p>・NPO法人設立活動支援として、団体のレベルアップ・人材育成のための「スキルアップ講座」を開催</p>	市民協働課
かりや夢ファンド補助金申請件数及びスキルアップ講座受講者数を増やすため、さらなる周知・広報を図る				
79	工賃水準の向上	<p>○就労継続支援事業所等の工賃水準の向上を図るため、事業所製品の展示・販路拡大等に努めます。</p> <p>○「刈谷市障害者就労施設等からの物品及び役務の調達方針」を庁内に広く周知し、就労継続支援事業所等からの物品、役務の調達を拡大します。</p>	<p>・市役所において事業所製品の展示及び販売</p> <p>・市内就労施設の製品及び作業カタログを作成</p>	福祉総務課 社会福祉協議会
自主製品の原価率やロス率を把握し、問題点を分析、改善する				
91	わかりやすいサインの整備	<p>○公共施設の案内板等の新設、修正において、障害のある人にもわかりやすい表示や色彩、デザインとなるよう努めます。</p>	<p>・刈谷駅南北連続通路のサイン設置に向けて、管理者等との調整の実施</p>	都市交通課
サインの見やすさと、わかりやすさを向上することが必要なため、刈谷駅周辺サインのデザインを統一し、視認性を高める				
99	市民の理解促進	<p>○市民だよりやホームページ、社会福祉協議会の機関紙等を通じ、障害や障害のある人への理解を進める広報・啓発活動を行います。</p> <p>○障害特性の理解と対応方法について広報・啓発活動を行います。</p> <p>○障害者週間の周知やヘルプマークなど障害のある人に関するマーク等の普及・啓発を図ります。</p> <p>○障害を理由とする差別の解消を推進するため、「障害者差別解消法」の周知を行います。</p>	<p>・機関紙「刈谷市社協だより」を発行（4回）</p> <p>・公式インスタグラムを活用し、社会福祉協議会が実施する障害者関係事業や業務についての情報発信（フォロワー数1,352人）</p> <p>・ヘルプマークを配布（726個）</p>	福祉総務課
ヘルプマーク等の普及、障害のある人に関する理解を進めるため、広報・啓発活動をより一層行う				
104	児童生徒の交流	<p>○障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の相互理解を深めるため、特別支援学校と小中学校、保育園、幼児園等との交流の機会を設けます。</p>	<p>・交流保育（さくら保育園としげはら園…10回、日高幼児園とひかりっこ…10回）</p> <p>・幼児園体験の実施</p>	学校教育課 子ども課
受け入れ体制は引き続き整え、各施設からの依頼に積極的に応えていく				
105	ボランティアの育成と活動支援	<p>○刈谷市民ボランティア活動センターと社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携を強化し、ボランティアに関する情報提供や相談、活動のコーディネートを行います。</p>	<p>・刈谷市民ボランティア活動センターや社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて活動をコーディネート</p> <p>・まちづくりに関する交流会や講座、情報提供等を実施し、交流や相互理解を深める機会を創出</p> <p>・ボランティア団体に活動補助金を交付（78団体）</p>	市民協働課 社会福祉協議会
情報サイトや各種イベント等について、さらなる周知・広報を図る				
106	地域住民の理解と支援	<p>○障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりや、災害時の避難支援の充実に向け、地域の支えあい・助けあい活動を促進します。</p> <p>○地区社会福祉協議会の活動支援を行い、地域の支えあい・助けあい活動を促進します。</p>	<p>・避難行動要支援者調査の結果を参考に、地域の自主防災会や民生委員・児童委員と平時の見守り活動と災害時の支援体制の構築に向けた支援</p> <p>・北部地区社会福祉協議会と南部地区社会福祉協議会及び中部地区社会福祉協議会の活動を支援</p>	福祉総務課 社会福祉協議会
すべての地区で福祉委員会が設立できるよう支援する				